

事業概要

本プログラムは、地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、「農畜産業経営を成長産業とする高度な実務的知識と実践力の習得」と「DXによる農畜産業経営の変革に主導的役割を果たしうる総合知の涵養」を人材育成の目的とした履修証明プログラムです。

実践力基礎コースでは、これからの農畜産業を担う若手人材を対象に、カリキュラムを通じて、農畜産業経済・経営における基礎的な知識、技術及び、農畜産業における課題解決の基礎的な対応能力等の習得を目指します。

プログラムの特徴

<対象>

農畜産業・後継者及び新規就農者、JA及び農業改良普及員、農業機械、資材メーカー等の農業関連組織、金融機関等の農業に携わる業種の若手職員

<カリキュラムについて>

カリキュラムは 4 つの科目群から構成され、導入科目の「リメディアル科目」、基礎的な知識の習得や資格取得を目標とした「実務基礎科目」、実践的な知識・技術を習得するための「実務実践科目」、応用的な知識・技術を習得するための「実務応用科目」を設置しています。本コースでは、「実務基礎科目」、「実務実践科目」を中心に「農業経営アドバイザー」資格取得に対応した農畜産業経済・経営の基礎的な知識、技術の習得を目指します。さらに希望者には、選択科目としてより高度な学びである「実務応用科目」を提供いたします。

<講義形式>

「リメディアル科目」、「実務基礎科目」については、遠隔（オンデマンド）での授業を実施します。その他の科目については原則対面での実施となりますが、開講時間を平日夜間及び土日祝日に実施し、欠席者へは補講として講義動画の視聴を可能にするなど、社会人が受講しやすい環境を整えています。

<ネットワークの形成>

本プログラムでは、農業経営アドバイザー資格の取得をサポートするための講師相談会、講師陣や履修者同士の交流等により、プログラム修了後もつながりの持てるネットワークの形成を支援します。

カリキュラム構成

実務基礎科目

必修 6 科目・選択 2 科目

農業簿記・農業税務Ⅰ
農業経営診断・改善の進め方Ⅰ
労務管理Ⅰ
農業マーケティングⅠ

他4科目

実務実践科目

必修4科目・選択 8 科目

プレゼンテーション演習【必修】
リスクマネジメント論【選択必修】
GAPで取り組む持続可能な農業経営【選択必修】

他9科目

リメディアル科目（3科目）

実務応用科目

選択 8 科目

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和5年10月4日

①学校名:	帯広畜産大学 大学(国立)		②所在地:	北海道帯広市稲田町西2線11番地		
③課程名:	農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム 実践力基礎コース		④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム		⑤開設年月日: 令和5年9月1日
⑥責任者:	学長 長澤 秀行		⑦定員:	10		⑧期間: 半年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	地域農畜産業並びに我が国の農畜産業をけん引する農畜産プロフェッショナル経営人材の育成のため、「農畜産業経営を成長産業とする高度な実務的知識と実践力の習得」と「DXによる農畜産業経営の変革に主導的役割を果たしうる総合知の涵養」を人材育成の目的とした履修証明プログラムである。 本プログラムの提供により、北海道十勝地域から世界の農畜産業のトップランナーを担う「農畜産プロフェッショナル経営人材」の育成・輩出を目指す。実践力基礎コースでは、これからの農畜産業を担う若手人材を対象に、カリキュラムを通じて、農畜産業経済・経営における基礎的な知識、技術及び、農畜産業における課題解決の基礎的な対応能力等の習得を可能としている。					
⑩10テーマへの 該当	ビジネス等(経済・政治等)	⑪履修資格:	・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者			
⑫対象とする職 業の種類:	農畜産業後継者及び新規就農者、JA及び農業改良普及員、農業機械、資材メーカー等の農業関連組織、金融機関等の農業に携わる業種の若手職員					
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 農業経済・経営における基礎的な知識及び技術 農業経営アドバイザー資格取得に対応した知識・技術			(得られる能力) 農畜産業における課題解決の基礎的な対応能力 農畜産業におけるDXの推進能力 コミュニケーション能力		
⑭教育課程:	本コースのカリキュラムは以下の科目群を設置し、農業経済・経営における基礎的な知識及び技術習得を目指す。 ・「実務基礎科目」:本コースでは全て必修科目としており、日本プロ農業総合支援機構との連携により、「農業経営アドバイザー」資格取得に対応した農業マーケティングや農業簿記等の計8科目を設置し、農業経営の知識習得及び「農業経営アドバイザー」資格取得を目指す。 ・「実務実践科目」:実践的な知識・技術を目的とした計12科目を設置し、プレゼンテーション演習や農畜産業経営者を訪問するフィールドワーク、セミナー等を必修科目として設置し、コミュニケーション能力、農畜産業における課題解決の基礎的な対応能力の習得を目指す他、選択科目としてAI・DXやRESASの活用等農畜産業におけるDX推進能力の習得、リスクマネジメントや企業戦略に関する知識習得を可能としている。 また、上記カリキュラムの他に、農畜産業経済、経営における導入科目及びより高度で専門的な知識の提供を行う。 ・「リメディアル科目」:オンデマンド受講によりコースの導入として基礎知識を習得を目的とした、経営・経済・会計の3科目を設置。 ・「実務応用科目」:ケーススタディやグループディスカッションを中心に、応用的な知識・技術の習得を目的とした計8科目を設置。					
⑮修了要件(修了 授業時数等):	各コースで設定した必修科目・選択科目を合計60時間以上修了する					
⑯修了時に付与され る学位・資格等:	履修証明書を付与					
⑰総授業時数:	130	時間	⑱要件該当 授業時数:	100	該当 要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数: 77 %
⑳成績評価の方法:	出席状況に小テスト又はレポート内容等から判断する					
㉑自己点検・評価 の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。 事業実施委員会において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。 検証・評価の結果はプログラムホームページで公表する。					
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方法:	修了者に対しては、フォローアップ調査を実施し、プログラム受講が業務にどのように貢献しているか検証を行う。					

②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 行政機関やJA、農業経営者、金融機関、社労士等の外部機関が委員として参画する事業実施委員会において、外部機関から農畜産業界の動向やニーズを把握しながら、カリキュラム編成を行っている。 (自己点検・評価) 行政機関やJA、農業経営者、金融機関、社労士等の外部機関が委員として参画する事業実施委員会を年に複数回開催することで、事業の実施状況、課題等を共有し、外部機関の第3者視点を加えたプログラムの点検・評価を行っている。
②④社会人が受講しやすい工夫:	夜間、土日開講、オンデマンド受講を取り入れ社会人が受講しやすいようにしている。
②⑤ホームページ:	http://univ.obihiro.ac.jp/~agri-pro/

(様式2)

授業科目の概要について

学校等名:	帯広畜産大学
課程名:	農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム 実践力基礎コース

要件該当授業時数:	100
要件該当授業時数／総授業時数:	77%

分類	No	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
自由選択	1	はじめての農業経済学(履修要件外)		2					窪田 さと子	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
自由選択	2	はじめての農業経営学(履修要件外)		2					三宅 俊輔	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
自由選択	3	はじめての農業会計(履修要件外)		2					河野 洋一	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
自由選択	4	基礎をかためる農業会計会計		6					事務所職員	税理士法人竹川会計事務所
自由選択	5	農業税務集中講義		3			○		庄司 智宏	帯広信用金庫アグリビジネス推進室
必修	6	農業簿記・農業税務Ⅰ		4			○		森 剛一	森税務会計事務所
必修	7	農業経営診断・改善の進め方Ⅰ		4			○		吉川 順子	株式会社吉川順子事務所
必修	8	農業マーケティングⅠ		1.5			○		松田 恭子	株式会社結アソシエイト
必修	9	労務管理Ⅰ		4			○		鈴木 泰子	社会保険労務士法人リライアンス
必修	10	農地制度・農地所有適格法人Ⅰ		1.5			○		堀口 浩	岐阜県農業会議
必修	11	農業・農村構造と農業政策Ⅰ		2			○		大泉 一貫	宮城大学名誉教授
必修	12	プレゼンテーション演習		4					岩本 博幸	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
必修	13	農畜産経営を学ぶことの意義とは何か?		2					岩本 博幸	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
必修	14	農業経営特別セミナー		4					岩本 博幸	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
必修	15	経営改善フィールドワーク		9		○	○		岩本 博幸 前田 茂雄 大野 泰裕 若杉真吾	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野 前田農産食品株式会社 株式会社大野ファーム 有限会社北広牧場
自由選択	16	SDGs農畜産経営		2					岩本博幸	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
自由選択	17	アニマルウェルフェアと持続的な農畜産業経営		4					岩本博幸 瀬尾哲也	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野 生命・食料科学研究部門 家畜
自由選択	18	リスクマネジメント論		6		○	○		柳瀬 典由 浦田 祥範	慶応義塾大学商学部 浦田コンサルティングオフィス
自由選択	19	企業戦略論		3/6		○			玉井 健一	小樽商科大学アントレプレナーシップ専攻
自由選択	20	GAPで取り組む持続可能な農業経営		3			○		田上 隆多	株式会社AGIC
自由選択	21	導入できる! 農場HACCP構築		15		○			藤倉 雄司	帯広畜産大学畜産フィールド科学センターマネージャー
自由選択	22	AIとDXセミナー		3			○		河添 裕介	NTT東日本
自由選択	23	ビジネスシーンでのRESASの活用		2					田中 康弘	北海道経済産業局
自由選択	24	農畜ファイナンス(資金調達)		8		○	○		庄司 智宏 畠山 尚史	帯広信用金庫アグリビジネス推進室 株式会社十生

自由選択	25	儲ける農業経営(経営管理)		4		○	○		竹川 博之	帯広畜産大学顧問 税理士法人竹川会計事務所
自由選択	26	農業経営戦略・組織論		6		○			河野 洋一	帯広畜産大学環境農学研究部門 農業経済学分野
自由選択	27	マーケティング事例分析		6		○	○		田守 順	経営コンサルタント (株)アミュゼクスアライアンス代 表取締役
自由選択	28	実践！農業の事業承継(ケーススタディ)		6		○	○		竹川 博之	帯広畜産大学顧問 税理士法人竹川会計事務所
自由選択	29	経営改善に役立つ労務管理		4		○	○		外崎 裕康	外崎労務事務所
自由選択	30	ケーススタディに学ぶ農地制度		2		○	○		佐藤 匡紀	一般社団法人北海道農業会議
自由選択	31	農業経営に活かす農業政策		2		○			農政推進官	農林水産省北海道農政事務所
合計:		31科目		130					時間	

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。